

(令和5年度補正予算) デジタル実装タイプTYPE1事業実施報告

記入日

2025年×月×日

※申請事業1事業につき事業実施報告書1部を提出するようお願いいたします。(別ファイルで作成・提出)

都道府県名

大分県

市区町村等名

由布市

地方公共団体コード

44213

担当部局名

湯布院地域振興課

責任者名

責任者役職

湯布院地域振興局長

担当者名

電話番号

0977-84-3111

メールアドレス

y.sinko@city.yufu.lg.jp

1.推進体制

回答済み

2.サービス実装・運用

回答済み

3.周知・広報

回答済み

4.評価・改善

回答済み

交付対象事業の名称

デジタルデバイス及びAI活用による渋滞緩和対策事業

事業年度

令和5年度補正デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプTYPE1)

サービス分野

単独・地域間連携

サービス分類

1. 推進体制
※行が足りない場合には、左側の「+」ボタンを押し、行を追加してください。

予定していた事業推進体制・構成員

名称（団体・事業者名）	団体・事業者概要	事業における役割
由布市	事業主体	事業全般の管理
建設技術研究所	委託業者	AIカメラ等の設置保守管理
道の駅・まちづくり観光局・観光協会等	関係団体	情報提供配償の協力

実際の事業推進体制・構成員

名称（団体・事業者名）	団体・事業者概要	事業における役割
由布市	事業主体	事業全般の管理
建設技術研究所	委託業者	AIカメラ等の設置保守管理
道の駅・まちづくり観光局・観光協会等	関係団体	情報提供配償の協力

2. 事業の収支
経費項目は、サービスの実装に要する費用を網羅的に記載ください。
収入項目は、サービスの利用料収入、事業者からの負担金や寄付金、申請団体自身による補助金、県の補助金、本交付金など網羅的に記載ください。
※「予定していた2024年度の事業収支」欄において、経費項目は実施計画書より転記ください。
※行が足りない場合には、左側の「+」ボタンを押し、行を追加してください。

予定していた2024年度の事業収支（経費については、実施計画書より転記）

経費項目	金額（単位：千円）
A Iカメラ（3台）利用経費	4,371
デジタルサイネージ（1台）利用経費	1,256
渋滞予測、システム構築料	5,153
経費合計	10,780
収入項目	金額（単位：千円）
デジタル田園都市国家構想交付金	5,390
自己負担金（由布市）	5,390
収入合計	10,780
収入合計－経費合計	-

実際の2024年度の事業収支

経費項目	金額（単位：千円）
A Iカメラ（3台）利用経費	4,371
デジタルサイネージ（1台）利用経費	1,245
渋滞予測、システム構築料	5,153
経費合計	10,769
収入項目	金額（単位：千円）
デジタル田園都市国家構想交付金	5,384
自己負担金（由布市）	5,385
収入合計	10,769
収入合計－経費合計	-

3. 事業のKPI
KPI目標値（3か年分）、KPI実績値（2024年度末）及び事業実施前の基準値・基準年度（いずれも数値のみ、記号（▲）を用いて設定している場合は「－（マイナス）」に置き換えて記載）を記入してください。
もし、基準値がないKPIを設定している場合（例：新規アプリを導入するサービスにおいて、アプリインストール数をKPIとして設定している場合）には、基準値・基準年度ともに「なし」と入力してください。
なお、太枠内の情報は、実施計画書より転記してください。
※KPI未計測の場合は、【2024年度末 実績値】欄に【未計測】と記入し、その上で【KPI未達成又は未計測】の場合の記述欄に計測できなかった理由及び今後の具体的な計測時期を記載してください。
※初年度（2024年度末）のKPIが未設定の場合には、【2024年度末 目標値】欄に【未設定】と記入し、その上で【KPI未達成又は未計測】の場合の記述欄に未設定の理由及び2025年度達成に向けた取組を記載してください。
※記述欄には、【実施した取組内容／達成できなかった理由・結果を踏まえた反省点、改善点・次のアクション】を記載してください。
※KPI数が11以上ある場合には、KPI@記載欄の左側下部にある「+」ボタンを押し、行を追加してください。

【KPI達成】の場合の記入例 達成のための取組内容や工夫および2025年度達成に向けた取組	「スマホ教室を開催する企業や団体と連携したサービスの紹介」と「公共施設でのアプリ利用方法の説明会」をそれぞれ月に1回の頻度で実施し、スマートフォンを日常的に使用する年代だけでなく高齢者にも広く周知できたことがKPI達成に寄与したと考えている。2025年度末のKPI達成に向け、従来の取組に加えて、小中学校や保育園での親子イベントと連動したプロモーションを検討しており、具体的な方法は現在推進体制に参画している企業や団体と議論を進めている。	219字
【KPI未達成又は未計測】の場合の記入例 達成（計測）できなかった理由および2025年度達成に向けた取組	2024年10月末に実装を予定していたが、事業者とのサービス機能部分の調整の難航により、2025年2月末の実装となった。サービスをプロモーションするための人員・時間の両方を確保できず、2024年度はサービスを実装するだけに止まってしまったことが、KPIを達成できなかった理由である。2025年度達成に向け、住民にサービスを実際に使用してもらうことが重要と考え、成功体験の場として各公民館やショッピングモールでのサービス体験会を2か月に1回の頻度で開催する予定である。	233字

KPI①		種別	単位	基準年度		基準値		
情報発信回数		アウトプット	回／日	2024年度末 目標値		2024年度末 実績値		達成状況
				48		48		達成
				2025年度末 目標値		2025年度末 実績値		達成状況
				96				
				2026年度末 目標値		2026年度末 実績値		達成状況
				144				
【「KPI達成」の場合】 達成のための取組内容や工夫および 2025年度達成に向けた取組	AIカメラより取得したリアルタイムの交通状況画像及び混雑状況を毎日9時～17時までの間で10分間隔で配信しているため、目標達成。 正常にAIカメラが作動していることを定期的に確認し、適宜保守点検作業を実施。AIカメラの映像については、ポータルサイトやデジタルサイネージにてライブ映像で混雑状況を配信している。概ねリアルタイムの混雑状況を配信することによって利用者が最新の情報を取得することができている。 2025年度も継続的に上記取組みを実施予定。							224字
【「KPI未達成又は未計測」の場合】 達成（計測）できなかった理由および 2025年度達成に向けた取組								0字

KPI②		種別	単位	基準年度	基準値	
渋滞検知率		アウトプット	%	2024年度末 目標値	2024年度末 実績値	達成状況
				90	92	達成
				2025年度末 目標値	2025年度末 実績値	達成状況
				92		
				2026年度末 目標値	2026年度末 実績値	達成状況
				95		
【「KPI達成」の場合】 達成のための取組内容や工夫および 2025年度達成に向けた取組	観光シーズンであるGW期間中のうち、混雑ピークを迎える3日間【2024.5.3～5.5（9時～17時）】において、AIカメラより取得したリアルタイムの混雑状況判定結果及びETC2.0プローブデータの旅行速度を比較した結果、92%の整合を確認したため、目標達成。 AIカメラ設置後収集した教師データをもとに、実際の混雑状況（ETC2.0プローブデータや目視確認）とAIカメラの混雑状況判定結果を確認の上、AIカメラの混雑判定の閾値設定を随時変更し、精度向上を図った。2025年度は更なる精度向上を目指す。					251字
【「KPI未達成又は未計測」の場合】 達成（計測）できなかった理由および 2025年度達成に向けた取組						0字

KPI③		種別	単位	基準年度		基準値	
由布市公式アプリ ダウンロード数		アウトカム	ダウンロード数	2024年度末 目標値	2024年度末 実績値	達成状況	
				8800	9179	達成	
				2025年度末 目標値	2025年度末 実績値	達成状況	
				9300			
				2026年度末 目標値	2026年度末 実績値	達成状況	
				9900			
【「KPI達成」の場合】 達成のための取組内容や工夫および 2025年度達成に向けた取組	2024年度の由布市公式アプリダウンロード数は9179であり、目標を達成。市役所や道の駅などの施設においてアプリの周知を図り、由布市民に限らず来訪者へのダウンロードを促進。由布市民及び来訪者にとって有益な情報を提供していることを共有。 2025年度は継続的に由布市民及び来訪者にダウンロードを促し、本取組である交通情報や渋滞発生状況、駐車場案内に関する情報発信を展開。更なるアプリダウンロード数向上を目指す。						204字
【「KPI未達成又は未計測」の場合】 達成（計測）できなかった理由および 2025年度達成に向けた取組							0字

KPI④		種別	単位	基準年度		基準値	
迂回路等の利用率		アウトカム	%	2024年度末 目標値	2024年度末 実績値	達成状況	
				5	16	達成	
				2025年度末 目標値	2025年度末 実績値	達成状況	
				6			
				2026年度末 目標値	2026年度末 実績値	達成状況	
				7			
【「KPI達成」の場合】 達成のための取組内容や工夫および 2025年度達成に向けた取組	観光シーズンであるGW期間中【2024.4.27～5.6（9時-17時）】のETC2.0プローブデータにおいて、交通量より迂回路等の利用率を確認すると16%であり、目標を達成。算定式：【上り線 湯布院IC⇒別府方面】89/1474*100＝6%【下り線 別府⇒湯布院IC方面】306/1196*100＝26% 上下線平均は16%。 チラシ・マップを作成して道の駅等の拠点へ配置、デジタルサイネージを道の駅ゆいんへ設置、公式アプリ・LINE・HPにてリアルタイムな情報発信を実施。HPでは渋滞予測の掲載も行い、カーナビアプリを活用した迂回誘導も展開。2025年度は更なる迂回路利用を促すため、継続的なカーナビアプリ等での情報発信を実施予定。						320字
【「KPI未達成又は未計測」の場合】 達成（計測）できなかった理由および 2025年度達成に向けた取組							0字

KPI⑤		種別	単位	基準年度		基準値	
県道216号の速度向上率		アウトカム	km／h	2024年度末 目標値	2024年度末 実績値	達成状況	
				5	2.1	未達成	
				2025年度末 目標値	2025年度末 実績値	達成状況	
				7.5			
				2026年度末 目標値	2026年度末 実績値	達成状況	
				10			
【「KPI達成」の場合】 達成のための取組内容や工夫および 2025年度達成に向けた取組							0字
【「KPI未達成又は未計測」の場合】 達成（計測）できなかった理由および 2025年度達成に向けた取組	観光シーズンであるGW期間中【2024.4.27～5.6（9時-17時）】のETC2.0プローブデータにおいて、2024年と2025年を比較すると、渋滞発生区間における速度変化は2.1km/h向上であり、目標は未達成。KPI④の迂回路等の利用率に示す通り、一定の迂回効果は見られるものの、依然として観光シーズン中の県道216号線へ交通が集中し、速度低下・混雑発生状況が確認される。2025年度はチラシ・マップ・デジタルサイネージ・公式アプリ・LINE・HP・カーナビアプリ等を活用した積極的な情報発信を継続的に実施し、来訪者の迂回誘導を促し、速度向上を目指す。						280字